

教員名	浜野 隆 (HAMANO Takashi)
所 属	文教育学部人間社会科学科教育科学講座
学 位	教育学修士 (名古屋大学 : 1991 年)
職 名	助教授
URL/E-mail	http://www.li.ocha.ac.jp/hss/edusci/ / hamano@cc.ocha.ac.jp

◆研究キーワード

教育開発 / 発展途上国 / 国際協力 / 国際機関 / アジア・アフリカ

◆主要業績

総数 (12) 件

- ・浜野隆「ベトナムの初等教育の費用負担構造：中央－地方関係を中心に」『初等教育の普遍化戦略に関する事例研究』（科学研究費補助金研究成果報告書）pp.64-92
- ・浜野隆「世界銀行の教育政策」日本教育政策学会編『日本教育政策学会年報』第 12 号、pp.83-92
- ・浜野隆「国際開発援助と教育改革」お茶の水女子大学『人間発達研究』第 28 号、pp.5-18

◆研究内容

2005 年度は、主に以下の 2 つの研究課題に取り組んだ。

①ベトナムの初等教育における財政構造

2005 年度は、ベトナムの初等教育財政に関する研究を実施した。ベトナムの初等教育には、地域間格差や階層間格差の問題が厳然と存在する。このような格差を是正していくために重要になるのが、政府による資源の「再配分」である。研究の問題意識は、ベトナムにおいては、上述のような格差を是正するための再配分政策はあるのか、あるとしたらそれはどのようなものか、といった点である。

②世界銀行の教育援助政策

世界銀行は国際的な教育援助において非常に重要な役割を果たしており、発展途上国の教育政策への影響力も大きい。2005 年度は、世界銀行の教育援助政策について包括的なレビューを行った。世界銀行の教育分野への援助は 1963 年に始まり、それ以降増加してきている。特に増加が著しいのは、1990 年代以降である。発表した論文では、世界銀行の教育援助の歴史を 4 つの時期に分けて説明している。

◆教育内容

1. 学部

学部段階における 2005 年度の教育内容としては、以下の様なものがあげられる：①教育開発概論、②教育学特殊講義 1、③教育政策科学演習（教育開発演習）、④社会科教育論、⑤教職概論、⑥教育原論（制度・社会）の「制度」に関する部分（教育行政）。他大学においては国際協力論（武蔵野大学）を担当した。

2. 大学院

大学院の授業においては、学生たち自身の研究テーマの報告、及びそれに関する討論を多く行った。共通文献としては、“Education for Development” や “Diploma Disease (邦題：学歴社会・新しい文明病)” を読んだ。他大学においては、「開発と教育政策・計画」（国際基督教大学大学院）を担当した。

近年、国際協力において教育分野での協力が重視されるようになってきている。教育開発に関する授業においては、途上国の教育の現状、国際機関の役割、日本の協力のあり方などを多くとりあげた。

◆Research Pursuits

(1) The financial structure of primary education in Vietnam

In the primary education in Vietnam, there are problems of regional and family income disparity in terms of promotion to higher grades and completion of primary school. What is important in correcting such disparities is “redistribution” of resources by the government. My main concern is whether or not redistribution policies exist in Vietnam to correct above described disparities. I paid an attention to the structure of educational financing in Vietnam, particularly to the cost-sharing structure of primary education because they are essential to understand the issue mentioned above.

(2) World Bank financing of education

The World Bank plays a very important role in both educational development policy in developing countries. World Bank lending for education, which started in 1963, has been increasing. And, it has increased rapidly since 1990's. In this article, I explained four stages in the history of World Bank lending for education: (1) Lending for education based on manpower planning (1963–1974), (2) Emphasis on primary education based on rate of return analysis, (3) Structural adjustment lending in education (1983–1989), (4) Increasing assistance for basic education after the World Conference on Education for All (after 1990).

◆Educational Pursuits

1. Undergraduate course

Classes given in Ochanomizu University during 2005.4–2006.3 are as follows, (1) Introduction to Educational Development, (2) Advanced Lectures in Educational Science 1, (3) Seminar: Educational Policy (Educational Development), (4) The Theory and Practice of Teaching Social Studies, (5) Introduction to the Teaching Profession, (6) Educational Administration. Also, “International Cooperation Studies” are given in Musashino University.

2. Graduate course

At graduate level, I took much time on discussing students' reports written on their own theme. In the class, I gave some reading assignments: “Education for Development” by Psacharopoulos and Woodhall, “Diploma Disease” by R. Dore. Also, “Development and Educational Policy and Planning (International Christian University)”. In the age of globalization, international cooperation is very important. Recently, education cooperation is one of the most important topics in the field of development assistance studies. In my class (Introduction to Educational Development, Advanced Lectures in Educational Science 1, Seminar: Educational Policy, and graduate course), I gave a lecture on the real situation of education in developing countries, the role of international organization, the challenges of Japan's ODA, education for international understanding, etc.

◆共同研究例

- ・義務教育の機能変容に関する国際比較研究
- ・公私協働とネットワーク化による教育運営支援に関する国際比較研究
- ・幼児教育に関する情報収集と幼児教育モデルの提案

◆将来の研究計画・研究の展望

1. 教育開発、国際教育協力のあり方を依り具体的に検討する。
2. 発展途上国、特にアフリカにおける世界銀行の役割。援助理念・政策と現実との関連
3. ベトナムにおける初等教育および就学前教育の構造の解明。
4. 教師教育に関する国際協力手法の検討。
5. 幼児教育・早期子ども発達 (ECD)分野における国際協力の可能性の検討

◆共同研究可能テーマ・今後実用化したいテーマ

- ・国際教育協力・教育開発
- ・教育格差に関する研究
- ・比較教育（教育の国際比較研究）

◆受験生等へのメッセージ

グローバル化が進む今日、教育学・教育科学は必ずしも日本の教育のみを対象にするものではなく、つつあります。日本の教育を見る際にも、グローバルな視点が求められつつあります。

私が専門とする「教育開発学」は、まだまだ教育学の中では新しい領域です。「教育開発学」はこれまでに培ってきた教育学の知見を発展途上国など海外の教育改善に活かしていくという、きわめて実践的な学問領域です。日本からの援助や提言が、発展途上国の教育政策や教育内容・教育方法の変容をもたらすこともあります。また、途上国の教育について考えること、途上国に日本の教育経験を伝えていくことは、日本の教育経験を相対化する(振り返る)契機にもなります。世界の人々ともに教育問題を一緒に考えていきたい人におすすめです。